キャリア支援通信
～架け橋～小学部　第4号

長良特別支援学校
キャリア支援部
令和７年９月８日

キャリア教育は、日々の学校生活や家庭生活等の中で、個性や生活年齢に合わせ、少しずつ継続して積み重ねていきます。中学部、高等部になると職場見学や現場実習などの機会がありますが、小学部においても、卒業後の社会生活につながる取組がたくさんあります。友達とかかわること、自分の思いを伝えること、新しい活動に興味をもつこと、それらは全て、子どもたちの社会性を育み、経験を広げ、それぞれのやり方で将来の進路を設計していく力につながると思います。

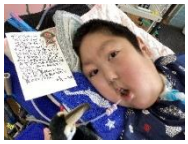
今回は、そのようなキャリア教育の視点より、小学部の各学級における取組をご紹介します。

なお、中学部と高等部の取組については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

１組　はがきを書こう

国語の時間に見本の絵はがきを見たり、はがきを送る時期を考えたりして、はがきを書く活動に取り組みました。家族には父の日に合わせて感謝を伝えるはがきを、転校した友達にはそれぞれが好きなキャラクターを描いたはがきを準備し、最寄りのポストまで投函しに行きました。また、交流籍の友達への手紙も「はがきがいい！」と、長文を一枚に収めて送りました。

繰り返し取り組むことで、はがきを書くことに意欲的になり、一度にたくさんの文字を書くことができるようになってきました。今後も年間を通じて、様々な季節のはがきを書いていきたいです。



２・３・４組　夏を楽しもう

「なかま」の授業で、盆踊りや爆弾ゲーム、花火の動画鑑賞を行い、いろいろな夏を感じました。爆弾ゲームでは、みんなで輪になって爆弾を回し、音楽が止まったときに爆弾を持っていた児童から、海の生き物うちわやウォーターマットをもらいました。「何がもらえるかな？」と友達に注目したり、「ちょうだい」のサインをしてほしい気持ちを伝えたり、教師と一緒に受け取ったりするなど、かかわりながら活動することができました。また、感じたことやいろいろな思いを声や表情、身体の動き等で表しながら、みんなで夏を楽しむことができました。今後も友達とのかかわりを大事にした授業に取り組んでいきたいです。

訪問　チューリップカップ

訪問の授業では『チューリップカップ』と称したボウリングの活動を行いました。ボールを転がすと、球根が倒れてチューリップが起き上がり咲くという仕組みです。訪問の児童にはおなじみのボウリングの活動なので安心して取り組め、繰り返し楽しむことができました。友達とオンラインでつないで対戦もしました。画面の向こうから聞こえる教師の声やボールを転がす友達の様子に視線や気持ちを向けて、ふだんとは違う賑やかさを感じ、お互いを応援しながら見合うことができました。小学部のみんなで楽しもうと「わくわくタイム」で行うことを計画していましたが、大雨による休校のため残念ながらできませんでした。しかし、後日、通学生もそれぞれに訪問の児童が使用したグッズを使って『チューリップカップ』を楽しむことができました。

これからも共通の教材を使って訪問生と通学生とが交流しながら、お互いの頑張りや得意なことなどを認め合い、かかわりを積み重ねていきたいです。